

各位

報告者：吉越(研修担当)

研修実施報告書

このたび、下記の通り研修を実施しましたのでご報告いたします。

記

研修の名称	障がい者相談支援の理解 その2～連携で支える地域包括ケア～ (群馬県介護支援専門員協会との共催企画)
講師名	講義：群馬県相談支援専門員協会 吉越恵実 シンポジウム：群馬県相談支援専門員協会 米田真一（モデレーター）、赤城野莊障害者相談支援事業所 直田温子、じゃんけんぽん地域生活支援室 原田由紀、相談支援事業所糸ぐるま 久我宜宏
実施場所	群馬県福祉総合センター 203会議室
実施日時	2025年11月7日 金曜日 14:00～16:00
受講者数・実施規模	73名（うち群馬県相談支援専門員協会会員16名）
実施の目的	介護支援専門員とのネットワークを全県にて構築し、両専門員の協力体制を築くとともに、各地域でのスムーズな連携を目指すきっかけとする
研修内容	1 講義「障害者支援と高齢者支援 何が一緒で何が違うのか？～障害福祉分野の基本的事項と連携場面から考える～」 (1) 介護保険法と総合支援法 (2) 相談支援専門員と相談支援事業所 (3) 障害福祉サービスの利用対象者 (4) 障害福祉サービスの利用のしくみ (5) よりよい連携に向けて 2 パネルディスカッション「65歳の壁問題を話そう」 3 交流会 4 群馬県介護支援専門員協会および相談支援専門員協会代表よりコメント
研修所感	介護支援専門員協会では当初定員30名としたところ、多数の申込があり、最終的に50名以上の参加があったことから、障害分野への関心の高さがうかがえた。地域別にグループを作ってもらい、相談支援専門員は各グループに1～2名程度の参加となつたが、直接地域の介護支援専門員と知り合える機会が得られなかった相談支援専門員もいた。今回は初回の試みでもあったこと、参加者が増えFTの確保が難しかったことから、講義、シンポジウム、意見交換（グループワーク）と三段構成としたため、グループワークの時間を短く設定したが、当日の会場の様子やアンケートから、もっとたくさん話したかったという声も聞かれている。これをきっかけに、各地域でも定期的な研修会や勉強会が開催されることを期待する。
備考	・研修後の受講者アンケートあり ・介護支援専門員と相談支援専門員のダブルライセンスについて米田会長から説明したことろ興味を示した介護支援専門員が何名かいた。

以上

2025.11.7 ケアマネ協会共催研修会 @ 群馬県福祉総合センター203 会議室



(主催者挨拶中緊張しながら待つ講義担当者)



(シンポジウムのモダレーターを務めた米田理事長と登壇者の皆さん)

シンポジウムではフロアから介護と障害の連携に関する地域の取組についての情報提供もありました。全部で11グループが組まれ、交流会ではケアマネさんからの質問攻めに遭った相談支援専門員もいたようで、参加者の関心の高さがうかがえました。

(吉越)